

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、9月7日に各会計の2年度決算の審査を行い、予算が効果的かつ適正に使われているか、事業の実施効果や状況はどうだったのかを確認しました。

主な質疑の内容をお知らせします。

徴収対策 住民会計

問 2年度分の税の徴収率は県平均だが、滞納繰越分の徴収率が低い。滞納の累積は、処理の困難へつながるが、滞納繰越分の処理の考え方は。

答 複雑な事案について相続人や時効等を徹底的に調査するが、法令に照らし合わせながら整理を進めなければならない。相続関係以外にも長期に滞納されている事案もある。同様に徹底した調査により、徴収あるいは猶予、執行停止、欠損などの処分を進めていく。本年5月から新たに税

滞納整理 住民会計

毎年春の徴収対策本部会議で、目標を立てている。

問 滞納にかなり古いものがあり、不納欠損の処理に必要なものはないか。処理には事務的に大変な作業であるが、積極的に進めるべきではないか。

答 古い滞納分の金額は令和2年度末において、普通税が約3700万円、国保税は約4300万円ある。平成22年以前のものについても合わせて3500万円ほどある。これらを解消し、徴収率の向上につながることも長年の課題である。昨年、法律に基づいて古いものは整理すべきのご意見もいただき進めていたが、年度内に多くは処理とならなかった。

問 滞納者が亡くなっている場合、相続等の確認に

時間がかかっている。

問 町民税等の2年度分の不納欠損は、9件で8万1千円となっている。

答 町民税のうち29年度の1件は死亡者案件、相続人全員の相続放棄が確認できての即時欠損で、22・24年度分は所在不明により催告や納税相談の折衝が確認できず、徴収権が消滅、時効となった。

時効の中断 住民会計

問 本町では、収入未済額の時効中断の手続きをどのようにされているか。

答 分納誓約または所得税還付などがある場合は、滞納分に充当するなど、その都度、時効の中断について適正に管理している。

財政の分析 総務

問 財政指標、未収金、予算執行率、事業繰越等どう分析し捉えているか。

答 財政健全化率、将来負担比率ともに上昇したが、新庁舎の建設等大型事業によるもので、両指標とも県平均は下回っている。収入未済額は保育料で一部あったが、全体的には納付されており、町民の納付に対する意識

基金の管理 総務

問 動きのない基金や少額の基金があるが、今後

や理解によるものである。予算執行率は、昨年度より改善、国の予算の関係で年度繰り越しとなった事業もあるが適正に整理されている。庁舎や大橋の建設等まちづくりの基盤となるインフラ整備を進めながら、安定的な財政の維持に努めたい。

学力向上対策 こども教育

問 小学校、中学校の学

の基金管理はどう考えているか。財政的に優位性のある基金もあり、もっと有効的な活用をすべきではないか。

答 設立当初の趣旨やその効果から、変更や廃止を含めた見直しが必要なものがあると認識している。様々な検討を行い基金の有効活用を図りたい。

力の関係について、全国や県と比較してどうか。現在の町内の授業づくりは、どのような形で指導しているか。

答 本年度の全国学力・学習状況調査の結果はまだ届いていない。昨年度はコロナ禍で調査は中止となったが、本町は自主的に全小中学校で実施した。

その結果と分析により、場面の状況を自分事として捉え、見直しを持ち適



笑顔で対応する収納窓口の職員

議会活動報告

盛岡北部行政事務組合議会臨時会
【期日】 9月28日
【場所】 八幡平市役所
【出席者】 近藤聖議員、山崎邦廣議員、姉帯春治議員
【議案】 条例改正1件、補正予算1件

辰柳敬一 議員



2年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成する。

2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外を問わず感染症対策に追われ、町民の生活はもとより雇用や経済に大きな影響が出た一年であった。各種事業の中止、規模縮小、事業実施方法の調整などを余儀なくされ、当局は多大な苦勞があったと思う。

町の最重要課題である人口減少対策については、対面型の移住定住イベントの開催が難しい中、インターネットを活用したオンラインイベントへ切り替えて実施するなど、コロナ禍の状況下においても町の認知度の向上や移住・定住に向けた取り組みを引き続き実施している。

町債減債基金や公共施設等整備基金を活用し、町債の繰上償還等を実施するなど、将来の財政負担の軽減を図り、先を見据えた財政健全化の取り組みに努められている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、国の財政状況が厳しい中、地方財政を取り巻く状況は、余談を許さない状況が予想されるが、引き続き、健全で持続可能な財政運営に努められるよう期待する。

一般会計は各種事業が効率的・効果的に執行されたことを評価する。

特別会計は、それぞれ趣旨に沿った執行がなされていると認められ、所期の目的が達成されている。(要約)

■反対討論なし